

# エルエイジー 0.05液

開封日

年 月 日

# エルエイジー 0.05液

500mL

工.濃厚液の使用により、皮膚・粘膜の刺激症状があらわれることがあるので注意すること。  
 才.炎症又は易刺激性の部位に使用する場合には、正常の部位に使用するよりも低濃度とすることが望ましい。

カ.粘膜、創傷面又は炎症部位に長期間又は広範囲に使用しないこと。

2) 調製時  
 深い創傷に使用する場合は希釈液としては、注射用水が滅菌精製水を用い、水道水や精製水を用いないこと。

(2) その他  
 使用時  
 石けん類は本剤の殺菌作用を弱めるので、石けん分を洗い落としてから使用すること。

(3) 緊急処置  
 飲み込んだ場合  
 水でよく口を洗い、水又は牛乳を飲ませ(無理に吐き出させない)、直ちに適切な処置を行うこと。

### 【薬効薬理】

1.アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩はグラム陽性菌、陰性菌及び真菌さらに結核菌にも有効であるが、大部分のウイルスに対する効果は期待できない。陽イオン界面活性剤と比較して、有機物や金属イオン存在下での効力低下が少ない。

2.生物学的同源性  
 エルエイジー0.05液と標準製剤の殺菌効果を滅菌率法にて検討した結果、両剤の生物学的同源性が確認された。

### 【取扱上の注意】

1.次の医薬品等が混入すると沈殿を生ずるので注意すること。  
 ヨードチンキ、マーキュロクロム、硝酸銀、プロテイン銀、フェノール、過酸化水素、過マンガン酸カリウム、タンニン銀、スルホサリチル酸、スルホサリチル酸ナトリウム、重クロム酸カリウム等  
 2.金属器具を長時間浸漬する必要がある場合は、腐食を防止するため0.1%の割合で亜硝酸ナトリウムを溶解すること。  
 3.開封時及び開封後は、微生物による汚染に注意すること。  
 4.安定性試験  
 最終包装製品を用いた加速試験(40℃、相対湿度75%、6ヵ月)の結果、外観及び含量等は規格の範囲内であり、エルエイジー0.05液は通常の市場の流通下において3年間安定であることが推測された。

### 【文献請求先】

吉田製薬株式会社 学術部  
 東京都中野区中央5-1-10

キャップ:PP  
 ボトル:PP  
 ラベル:PS

ゴム:ゴム栓

202008

販売

外用殺菌消毒剤

2015年1月改訂(第4版)

滅菌製剤

# エルエイジー 0.05液

LAG-0.05 Solution  
 アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩製剤

調剤

500mL 0.05%



製造  
 番号  
 使用  
 期限

製造販売元  
 吉田製薬株式会社  
 埼玉県狭山市南入曾951



ヨシダ製薬

500mL

外用殺菌消毒剤

500mL

日本標準商品分類番号	承認番号	21000AMZ00501000
872619	薬価収載	1998年 7月
貯法:遮光した気密容器	販売開始	1998年 4月
使用期限:ラベルに記載	再評価結果	1982年 8月

### 【組成・性状】

1.組成  
 アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩0.05%w/vを含有する。  
 添加物としてpH調整剤を含む。

2.製剤の性状  
 無色～微黄色透明の液で、わずかに特異なにおいがある。  
 比重d器:約1.00  
 pH:7.0~9.0

### 【効能・効果】【用法・用量】

アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩として下記の濃度になるように水で希釈、またはそのまま、次のように使用する。

効能・効果	用法・用量
手指・皮膚の消毒	0.05%溶液で約5分間洗った後、滅菌ガーゼあるいは布片で清拭する。
手術部位(手術野)の粘膜の消毒、皮膚・粘膜の創傷部位の消毒	0.01~0.05%溶液を用いる。
医療機器の消毒	0.05%溶液に10~15分間浸漬する。なお、結核領域において、本剤は用いない。
手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒	0.05%溶液を布片で塗布・清拭するか、または噴霧する。なお、結核領域において、本剤は用いない。

〈用法・用量に関連する使用上の注意〉  
 本剤の各適応に対する使用濃度は上記とされているが、その使用濃度にあたっては、再評価結果に留意すること。  
 (アルキルホリアミノエチルグリシンの再評価結果)  
 アルキルホリアミノエチルグリシンの再評価結果になるように水で希釈して、次のように使用する。

1.手指・皮膚の消毒  
 0.05~0.2%溶液で約5分間洗った後、滅菌ガーゼあるいは布片で清拭する。  
 2.手術部位(手術野)の皮膚の消毒  
 0.1%溶液で約5分間洗った後、0.2%溶液を塗布する。

滅菌製剤

# エルエイジー 0.05液

LAG-0.05 Solution

アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩製剤

3.手術部位(手術野)の粘膜の消毒、皮膚・粘膜の創傷部位の消毒  
 0.01~0.05%溶液を用いる。  
 4.医療機器の消毒  
 0.05~0.2%溶液に10~15分間浸漬する。  
 5.手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒  
 0.05~0.2%溶液を布片で塗布清拭するか、または噴霧する。  
 なお、結核領域において、上記4、5に用いる場合は0.2~0.5%溶液を用いる。

### 【使用上の注意】

1.副作用  
 本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類・頻度	0.1~5%未満
過敏症 <sup>注)</sup>	発疹、痒痒感等

注)症状があらわれた場合には、使用を中止すること。  
 2.臨床検査結果に及ぼす影響  
 本剤で消毒したカテーテルで採取した尿は、スルホサリチル酸法による尿蛋白試験で偽陽性を示すことがある。  
 3.適用上の注意  
 (1)人体  
 1)使用時  
 ア.外用にのみ使用すること。  
 イ.原液又は濃厚液が眼に入らないように注意すること。入った場合には水でよく洗い流すこと。  
 ウ.散布消毒の場合はマスクを着用するなど注意すること。